

御所まち近世景観街道～近世物流の要所～
紹介ページへ



風景街道のルート
日本風景街道



御所まち近世景観街道～近世物流の要所～

江戸時代のまちなみ、まちごと「町家ミュージアム」

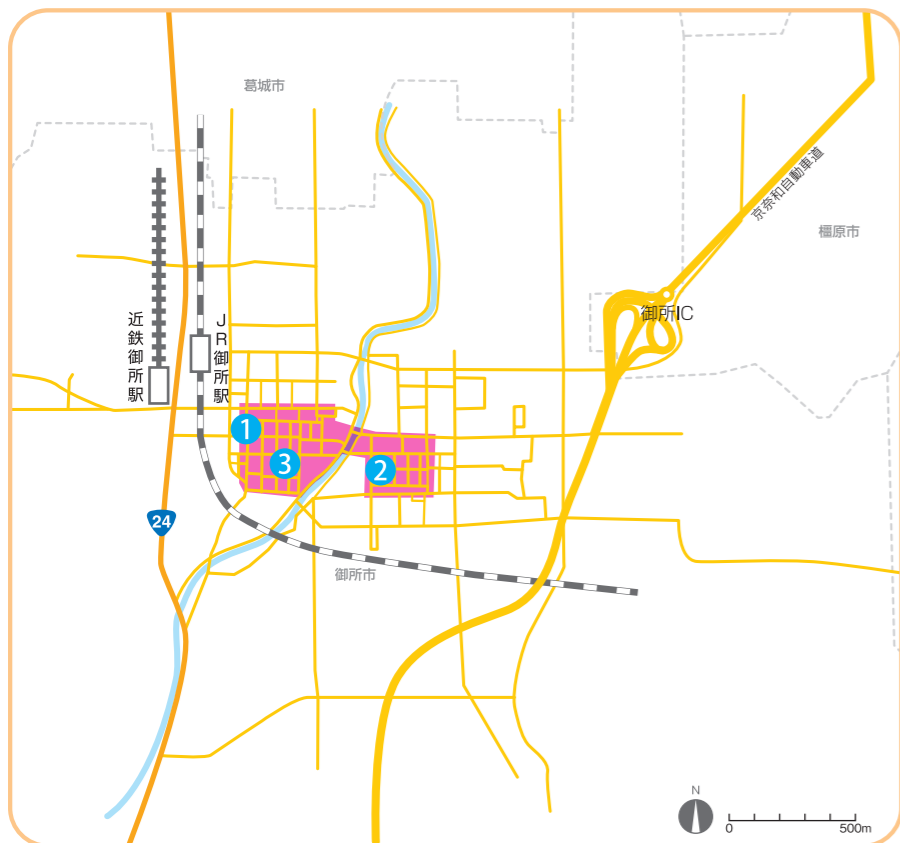
御所まちは江戸時代から伊勢街道・竹内街道や高野街道の交通の要衝で、大和餅や菜種油などの商業の街でした。江戸から昭和初期に建てられた町家が百数十軒残り、毎年11月の「御所まち霜月祭」では、各町家で歴史資料や芸術作品、生活用品などが公開され、まち全体がイベント会場となっています。



観る

まちなみ

江戸時代初期に形成された陣屋町で、現在もほとんど変わらない町並みが残っている。



活動・取り組みの紹介

御所市観光ナビ(アプリ)により御所まちの情報発信を行っています。
御所市ボランティアガイドの会では、事前予約によりガイドを行っています(都合によりご希望に添えない場合があります)。

● お問い合わせ先

御所市観光協会
奈良県御所市1番地の3 (御所市役所地域活性推進室内)
TEL : 0745-62-3346
http://city.gose.nara.jp



御所町検地絵図

江戸時代中期(1742年)に検地したもの。絵図には、通り名・道幅・持ち主・面積・番号等が書かれている。道幅・背割り下水・環濠・寺院の場所等は、今もほぼ同じ。



高札場

江戸時代には幕府の最も重要な法令を木の板(高札)に書いて掲げることが義務付けられており、村や町には必ず一か所設けられていた。現在の高札場は、平成20年に復元。



円照寺

浄土真宗大和五ヶ所御坊のひとつに数えられる円照寺。寺を中心とする門前町の典型とされ、原型が残されている姿は全国でもめずらしい。



霜月祭(そうげつさい)

毎年11月第2日曜日に開催されるこの催しは、由緒ある町家の公開をはじめ、地元の人たちの個性あふれる芸術作品の展示・名物「おづぬ餅」・「霜月茶会」・「行者おねり」など、見どころや食べどころが満載。



背割り下水と環境

関が原の合戦後、当地を支配した桑山元晴が、環濠内の道路・背割り下水を整備し、西御所は環濠集落として、16世紀中頃またはそれ以前に成立したと考えられている。背割り下水と環濠は、ほとんど検地絵図のとおりに現存する。



旧御所郵便局

かつて郵便局として使用された建物。

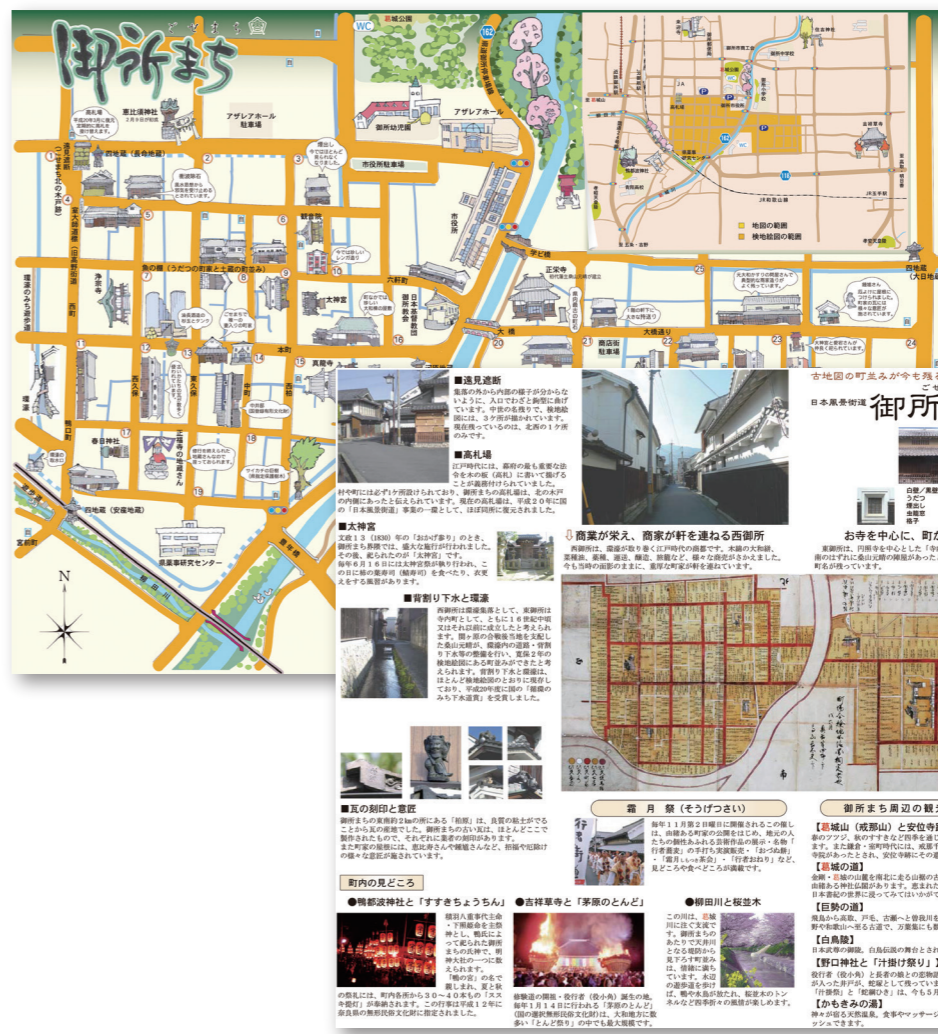


奈良県御所市原産の柿

御所柿(ごしょがき)は室町から江戸初期頃に、御所まち近辺で突然変異により出現したすべての甘柿の原種とされる柿の品種。他の柿より小ぶりであり、先がわずかに尖っており、しばしばヘタが五弁・果実も五角形のものが多いのが特徴。果肉は柔らかく、糖度も高く上品な味だが、生産量が少なく、市場にほとんど出てこないのが、幻の柿ともいわれている。

● 御所まちイラストマップ

楽しくまち歩きができる強い味方。御所まちで無料配布



お寺を中心に、町が迫られた東御所

御所町の町並み

御所町の町並み

御所町の町並み

御所町の町並み

御所町の町並み

御所町の町並み

御所町の町並み